

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	ランドスケープ (Landscape)		
ナンバリングコード	L30410	大分類 / 難易度 科目分野	建築学科 専門科目 / 応用レベル 建築計画
単位数	2	配当学年 / 開講期	3年 / 前期
必修・選択区分	コース選択必修:環境地域(まち)コース、環境地域(社会)コース 選択:建築設計コース、建築工学コース、住居・インテリアコース		
授業コード	L041051	クラス名	-
担当教員名	菅 雅幸		
履修上の注意、履修条件	発表用の写真を撮りますので、出来ればカメラを用意してください。 教科書、視聴覚資料の内容を中心に講義を行いますので、必ず出席するように心掛けてください。		
教科書	特になし		
参考文献及び指定図書	テキスト ランドスケープデザインの歴史 武田史朗、他2名 著編、学芸出版社 風景のとらえ方・つくり方 九州実習編 小林一郎 監修 風景デザイン研究会 著 共立出版 都市計画 朝倉書店 萩島 哲 編、菅 雅幸 他著		
関連科目	都市計画		

○授業の目的・概要等	
授業の目的	ランドスケープは、環境保全、低炭素化をはじめとした地球温暖化対策や生物多様性の保全など、開発と環境保全とをバランスさせた、持続的な社会の形成がグローバルな課題となっている。ランドスケープづくりやその管理に、どのような人々が、どのような考えで、そしてどのような技術を持って関与しているのかについて紹介することを大きな目的としています。
授業の概要	風景のとらえ方・つくり方を基にして、景観工学に関する用語の紹介と風景の読み解き方を説明します。次にランドスケープのしごとを基に、造園の立場から、土地の自然や人々の営みが生み出した土地固有の風景というとらえ方について学んでもらいます。 都市設計としてのランドスケープデザインの歴史を紹介します。 都市計画としての景観デザインを歴史的なまちづくりを実例に、フィールドワークを行います。、環境保全に必要な循環型社会の構築、生物多様性の保全について、関連法制度を学んでもらいます。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式 「共同担当方式」
	(3) アクティブ・ラーニング フィールドワーク 他
地域志向科目	カテゴリー III: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目
実務経験のある教員による授業科目	菅 雅幸 本授業のエクステリアに関する実務経験として設計事務所にて設計業務に従事。

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	日常、接しているランドスケープ(植栽・造園土木)に興味を持つ習慣をつける。			30点
【知識・理解】	土木知識を基にした、維持管理の内容と方法を理解する。	20点		
【技能・表現・コミュニケーション】	視覚効果により、印象が大きく変化することを製作体験する。		15点	15点
【思考・判断・創造】	造景を通じて、建築物・土木構築物に造詣を深める。	20点		
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
見学会に参加して、作品を提出する事。 必ず出席し、各自作品のプレゼンを行ってもらう。				

○その他
都市計画(都市計画法、都市計画関連法)、建築法規1(用途地域、建蔽率、容積率、高さ制限、日影制限、天空率、その他の関連法規)、CAD2(建蔽率、容積率、高さ制限、日影制限、天空率)、ランドスケープ(環境関連法)のそれぞれの講義内容が連携しています。 私たちの携わる仕事は、主に国土交通省の管轄内容が多いのですが、経済産業省、環境省との関りも重要となってきています。 これを機会に専門性を高め、より幅広い視野を持つようにしてください。

2020年度 授業シラバスの詳細内容

<p>○授業計画 科目名：ランドスケープ (Landscape) 授業コード:L041051 担当教員：菅 雅幸</p>	<p>○授業計画 科目名：ランドスケープ (Landscape) 授業コード:L041051 担当教員：菅 雅幸</p>
<p>学修内容</p>	<p>学修内容</p>
<p><b>1. 風景のとらえ方1</b> 人と活動 風景を眺める人間に焦点をあてて、様々な知見のまとめを解説します。また、風景のイメージや模範となる風景、住民参加の風景作りなどについて、実例を挙げて解説します。</p> <p>予習： (約2.0h) 復習： 配付資料、または課題を配布し、講義内容の復習を行う。(約2.0h)</p>	<p><b>9. 環境保全制度の法制度1</b> 自然環境の保全と利用に関わる法制度と、都市の緑の保全・活用・創出に関わる法制度について解説します。生物相や生物多様性の現状を理解するためには生息場所を含むランドスケープの把握が必要です。目に見える風景を成り立たせている、自然や社会の仕組みまでを含めて捉えることについて解説します。</p> <p>予習： 次週の授業用に配布する用語について、事前検索をしておく。(約2.0h) 復習： 配付資料、または課題を配布し、講義内容の復習を行う。(約2.0h)</p>
<p><b>2. 風景のとらえ方2</b> 人と空間 人々を取り巻く空間の側から風景について解説します。また、近代都市計画の例からきのうのよみときや都市計画の導入について解説します。</p> <p>予習： 次週の授業用に配布する用語について、事前検索をしておく。(約2.0h) 復習： 配付資料、または課題を配布し、講義内容の復習を行う。(約2.0h)</p>	<p><b>10. 環境保全制度の法制度2</b> 農林業の環境に関わる法制度と、水環境の保全・利用に関わる法制度について説明します。</p> <p>予習： 次週の授業用に配布する用語について、事前検索をしておく。(約2.0h) 復習： 配付資料、または課題を配布し、講義内容の復習を行う。(約2.0h)</p>
<p><b>3. まちづくり 城下町のデザイン</b> 歴史的町並み保全のまちづくり、歴史的町並みを保全する制度、伝統的建造物群保存地区、歴史まちづくり法について解説します。次回より行う実地研修についての説明を行います。第1回、第2回の講義の内容をふまえ、実際に学外の景観事例を見学します。各対象地のロケーションについて解説を行うとともに、記録の技術や手法について説明します。その後、主に特異点探索調査の準備を実施します。また、各自で対象地の情報をどのように収集するかについて、指導を行います。</p> <p>予習： 次週の授業用に配布する用語について、事前検索をしておく。(約2.0h) 復習： 配付資料、または課題を配布し、講義内容の復習を行う。(約2.0h)</p>	<p><b>11. 環境保全制度の法制度3</b> 歴史的風土や文化財保護に関わる法制度と景観緑三法について説明します。</p> <p>予習： 次週の授業用に配布する用語について、事前検索をしておく。(約2.0h) 復習： 配付資料、または課題を配布し、講義内容の復習を行う。(約2.0h)</p>
<p><b>4. 課外授業</b> 2週分の講義時間を掛けて、学外にて実地研修を行います。実際の風景を体験し、特異点探索調査を実施します。対象地は、臼杵の城下町(山あて)、庭園、大分市のランドスケープ</p> <p>予習： 課外授業で行く場所や用語について、事前検索をしておく。(約2.0h) 復習： (約2.0h)</p>	<p><b>12. テスト</b> ランドスケープの構造と生物多様性、環境保全制度の法制度までの講義の内容について試験を行い、解説します。</p> <p>予習： テストの内容となるランドスケープの構造と生物多様性、環境保全制度の法制度の復習を行う。(約2.0h) 復習： テストの見直しを行う(約2.0h)</p>
<p><b>5. 課外授業</b> 2週分の講義時間を掛けて、学外にて実地研修を行います。実際の風景を体験し、特異点探索調査を実施します。対象地は、臼杵の城下町(山あて)、庭園、大分市のランドスケープ</p> <p>予習： 課外授業で行く場所や用語について、事前検索をしておく。(約2.0h) 復習： (約2.0h)</p>	<p><b>13. ランドスケープデザイン史 I</b> 1850-1939:民主主義と工業化の時代、近代ランドスケープの幕開け、理想都市の風景、車社会と抽象芸術、モダニズムについて解説します。</p> <p>予習： 次週の授業用に配布する用語について、事前検索をしておく。(約2.0h) 復習： 配付資料、または課題を配布し、講義内容の復習を行う。(約2.0h)</p>
<p><b>6. 課外授業の整理・発表</b> 課外授業で撮影した風景と、資料収集したものを基に、パワーポイントにてプレゼンテーションを作成し、全員で発表をします。</p> <p>予習： 発表用のプレゼンテーションを作成する準備をしておく。(約2.0h) 復習： (約2.0h)</p>	<p><b>14. ランドスケープデザイン史 II</b> 1940-1979: 都市生活と環境の対峙、生活空間の機能と造形、モダンデザインの生産、都市空間への挑戦、ポストモダンと環境への眼差しについて解説します。</p> <p>予習： 次週の授業用に配布する用語について、事前検索をしておく。(約2.0h) 復習： 配付資料、または課題を配布し、講義内容の復習を行う。(約2.0h)</p>
<p><b>7. ランドスケープ(造園)の手法1</b> 日本庭園を基に、作庭方法を解説します。</p> <p>予習： 次週の授業用に配布する用語について、事前検索をしておく。(約2.0h) 復習： 配付資料、または課題を配布し、講義内容の復習を行う。(約2.0h)</p>	<p><b>15. ランドスケープデザイン史 III</b> 1980-2009: 風景の再構築に向けて、ミニマリズムと現象の美学、ランドスケープアーバニズム、「環境、、都市、人」について解説します。</p> <p>予習： 次週の授業用に配布する用語について、事前検索をしておく。(約2.0h) 復習： 配付資料、または課題を配布し、講義内容の復習を行う。(約2.0h)</p>
<p><b>8. ランドスケープ(造園)の手法2</b> 西洋風庭園、広場を基に、作庭方法を解説します。</p> <p>予習： 次週の授業用に配布する用語について、事前検索をしておく。(約2.0h) 復習： 配付資料、または課題を配布し、講義内容の復習を行う。(約2.0h)</p>	<p><b>16. テスト</b> ランドスケープデザイン史の講義の内容について試験を行い、解説します。</p> <p>予習： テストの内容となるランドスケープデザイン史の復習を行う。(約2.0h) 復習： (約2.0h)</p>